

作成年月日	平成 19 年 10 月 22 日
作成部局	神 戸 県 民 局

『旧武藤山治邸-旧鐘紡舞子倶楽部-』の一般公開

平成 19 年 3 月にカネボウ(株)より寄贈を受けた「旧武藤山治邸-旧鐘紡舞子倶楽部-」を、来年早々から解体・移築するに先立ち、11月4日(日)に一般公開を行う。

旧武藤山治邸は、明治 40 年に舞子浜に建てられた西洋館で、移情閣とともに地域のランドマークとして親しまれていたが、平成 7 年に明石海峡大橋整備にともなう国道 2 号拡幅工事のため、垂水区狩口台 7 丁目に移築されている。

本建物は、屋内に創建時の内装を残すとともに、家具や書籍が保存されるなど、明治期の西洋館の住宅形式や生活様式を窺うことができる貴重な建物であり、今後、公園施設として広く県民に公開することを目的に創建時の縁(ゆかり)の地に近い舞子公園に恒久的に保存することとしている。

旧武藤山治邸-旧鐘紡舞子倶楽部-
(神戸市垂水区狩口台 7 丁目所在)

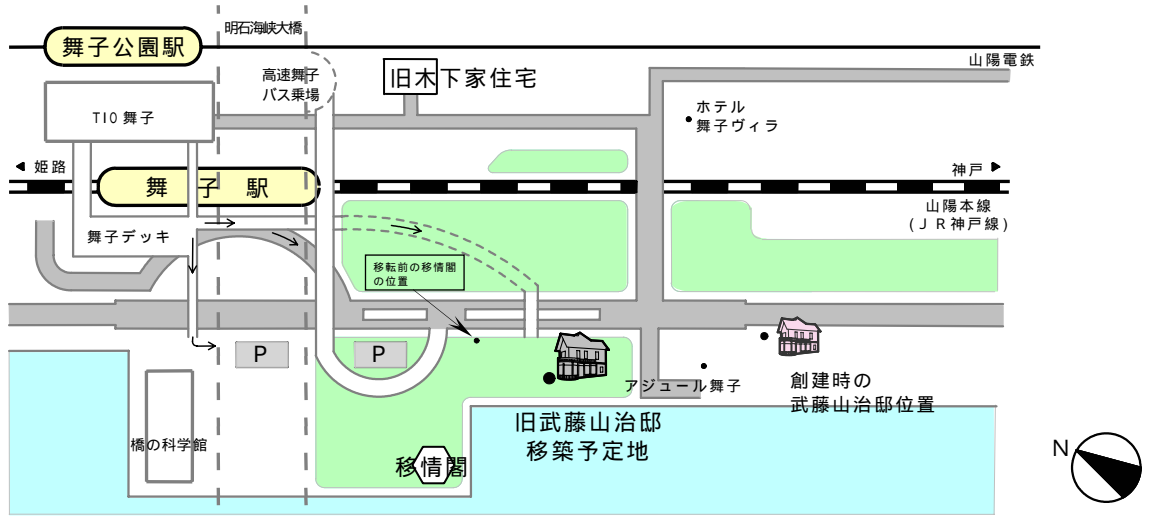


【一般公開の概要】

- 1 日 時 平成 19 年 11 月 4 日(日) 午前 10 時～午後 4 時
- 2 場 所 旧武藤山治邸-旧鐘紡舞子倶楽部-
(神戸市垂水区狩口台 7 丁目 5 番 6)
- 3 内 容 「旧武藤山治邸-旧鐘紡舞子倶楽部-」の現地見学会
絵画、蔵書は既に搬出し、兵庫県立美術館及び淡路景観園芸学校にて保管しています。
- 4 参加申込 不要(参加希望の方は現地までお越し下さい。)
ただし、見学者数多数の場合は入場規制をいたします。
- 5 参加費用 無料
- 6 主 催 兵庫県神戸県民局・神戸大学
- 7 問い合わせ先

神戸県民局県土整備部 神戸土木事務所 公園ダム課
TEL 078-737-2157

旧武藤山治邸移築予定地



旧武藤山治邸-旧鐘紡舞子倶楽部-の概要

「旧武藤山治邸 - 旧鐘紡舞子倶楽部 - 」は、鐘紡の中興の祖と言われ、衆議院議員として活躍した武藤山治(1867(慶応3年)-1934(昭和9年))が、明治40年(1907)に舞子海岸に建てた住宅である。平成19年3月に、兵庫県は、建物とともに家具・絵画及び蔵書等調度品についてカネボウ㈱より寄贈を受けた。本建物は、外観は移築時に一部新材にて再現されているものの、内部の仕上げ材や家具調度品については往時のまま保存されており、明治期の西洋館の住宅形式や生活様式を窺うことができる貴重な建物である。

舞子公園への移築後は、国登録有形文化財として申請予定である。

建築面積	183.38 m ² (延床面積 234.26 m ²)
建築年代	明治40年
建築様式	コロニアル様式 木造2階建 下見板貼り

今後のスケジュール(予定)

	平成19年度					平成20年度											
	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
解体工事		← 解体工事 →															
移築復元工事						← 移築復元工事 →											
周辺整備工事															← 外構・庭園整備 →		
一般公開										(予定)							

(参考) 旧木下家住宅保存修理工事見学会

- 第1回見学会 (H19.7.29) 134名参加 木組や壁などの内部構造の見学
- 第2回見学会 (H19.12 予定) 左官工事状況の見学

『旧武藤山治邸-旧鐘紡舞子倶楽部-』の一般公開

日 時

平成19年11月4日(日)
10:00～16:00(入館は15:45まで)

内 容

『旧武藤山治邸-旧鐘紡舞子倶楽部-』の
現地見学会

参加費

無 料



旧武藤山治邸-旧鐘紡舞子倶楽部-

見学会参加について

本見学会は自由見学です。参加希望の方は現地までお越し下さい。
(見学者数が多い場合は、入場規制を行います。)

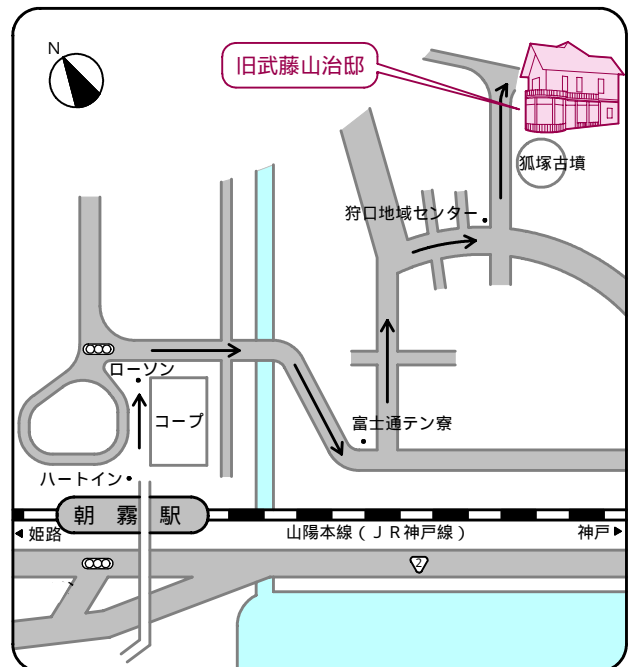
注意事項

- ・建物内は土足厳禁です。スリッパ等の上履き及びビニール袋等をご持参下さい。
- ・駐車場はありません。会場周辺は住宅街のため、車でのご来場はご遠慮下さい。
- ・会場にトイレはありません。

【現地のご案内】

神戸市垂水区狩口台7丁目5番6

(朝霧駅より徒歩15分)



主催 兵庫県神戸県民局 ・ 神戸大学

問合せ 兵庫県 神戸県民局 県土整備部 神戸土木事務所 公園ダム課
TEL. 078-737-2157(平日 8時45分～17時30分)

旧武藤山治邸-旧鐘紡舞子倶楽部-の概要

「旧武藤山治邸 - 旧鐘紡舞子倶楽部 - 」は、鐘紡の中興の祖と言われ、衆議院議員として活躍した武藤山治(1867(慶応3年)-1934(昭和9年))が、明治40年(1907)に舞子海岸に建てた住宅です。設計は、横河工務所に在籍し、後に帝国議会議事堂(現国会議事堂昭和11年(1936))を始めとする多くの官庁建築を主導した大熊喜邦です。もとは、西洋館と和館が並立し、特に西洋館は、移情閣とともに地域のランドマークとして親しまれていました。

武藤山治の亡くなった後、昭和12年(1937)に武藤家から鐘淵紡績(株)に寄贈され、「鐘紡舞子倶楽部」として社員の厚生施設として利用されてきました。しかし、明石海峡大橋建設に伴う国道2号の拡幅工事のため、平成7年に西洋館のみが現在の狩口台7丁目に移築されました。

平成19年3月、兵庫県は、この由緒ある建物を内部の家具・絵画及び蔵書等調度品とともに、カネボウ(株)より寄贈を受けました。現在の建物は、移築時に一部新材にて再現されているものの、内部の仕上げ材や家具調度品については往時のまま保存されており、明治期の西洋館の住宅形式や生活様式を窺うことができる貴重なものです。

兵庫県では、この明治期の貴重な西洋館を恒久的に保存継承し、広く県民に公開することを目的に、今年度より建物の縁の地である県立舞子公園への移築工事を開始します。



昭和42年頃 旧武藤山治邸

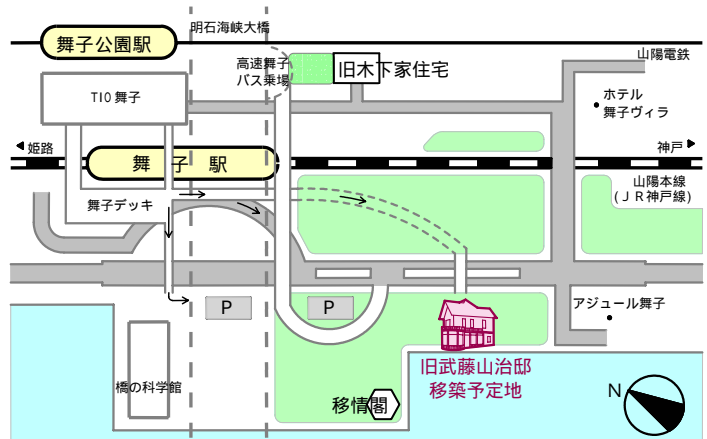


昭和60年頃の舞子浜周辺(旧武藤山治邸と移情閣)

移築先の県立舞子公園では、旧武藤山治邸の移築によって、移情閣(国指定重要文化財)や現在修復を進めている旧木下家住宅(国登録文化財)、近隣の舞子ホテル(旧日下部邸)など、歴史的建造物の集積による相乗効果生まれ、公園や地域が往時の建築文化を今に伝える新たな名所として、舞子地域の振興に寄与することが期待されています。



現在の旧武藤山治邸



旧武藤山治邸移築予定地